

府立東住吉総合高等学校の取組み

(1) 学校教育目標(めざす生徒像)

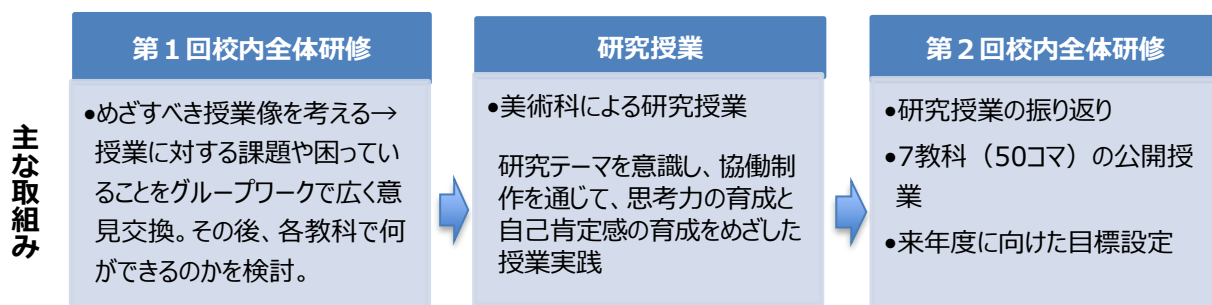
工業・商業系列等を持つ総合学科として、多様な進路実現を可能にし、生徒が夢を実現できる学校、地域・保護者から厚く信頼される学校をめざす。

- 「探そう 東総 明日の自分！」をキーワードとしてキャリア教育・職業教育を力強く推進する学校。
- 「基礎的・基本的な知識・技能の習得と主体的な活用」を目標に授業で鍛える学校。
- 「よりよい社会を切り拓いていく人間」になるため、学校・家庭・地域等が一体となり、多様な他者との共有を図り、教育活動を展開する学校。
- 「目標達成に向け意欲的に取り組む学校運営体制」を確立し、府民の期待に応えられる学校。

(2) 主な取組みと組織体制の準備

- テーマ…「生徒の考える力・自己肯定感の育成」

基礎的な学力の定着、グループワークなど協働的な学びへの主体的な参画に向けて、生徒にどのように動機付けしていくかが課題。



※学力向上プロジェクトチームによる研修準備と研修運営、情報分析や振り返り等を年間計6回実施しています。

※「学力向上PT」は教科から6名、首席、教頭の計8名で構成。

(3) 主な実践とその工夫

① めざす生徒像、めざす授業像を共有する

学力向上PTで事前にミーティングを行い、取り組むべき課題について話し合っていました。研修に参加した教職員が「やらされている感」を感じる事が無いよう、あえてその内容、結論については触れず、広く意見交換することから始めることにしました。グループワークは2回に分けて行い、1回目は教科や経験年数がバラバラになるようあらかじめ設定した10名のグループごとに行います。

担当している授業に対する課題や困っていることを意見交換し、課題の共有とめざす生徒像の明確化を目標に取り組みました。2回目は教科ごとのグループに分かれ、1回目のグループワークで共通理解が得られた課題、「生徒の考える力・自己肯定感の育成」をテーマに、各教科でできることや授業のアイデアなどについて意見を出し合いました。また、自分が担当している授業にイメージを落とし込み、具体的な授業改善に結び付くようにしました。

